

本は玉手箱

校長 新門 健一

私は小さい頃体が弱くしょっちゅう病院に行っていました。外で遊ぶこともありませんでしたが、他の子どもたちのように元気いっぱい駆け回ってはいませんでした。こんな状況だったからでしょうか、絵本(昔話)や名作物の本を親などから与えられ繰り返し読んでいたようでした。小学校に入学してからは、「トムソーヤの冒険」「ロビンソンクルーの漂流記」等が大好きで繰り返し読み、自宅近くの河原に仲間と秘密基地を作って主人公になったつもりで遊んでいました。また、家にあった20巻ほどの学習百科事典を暇があれば見ていました。特に「歴史」「世界」の分野には関心があり、繰り返し繰り返し見ていました。小学校高学年になるにつれ、現実にあったノンフィクション物が大好きになり、小学校の図書室だけではなく、学校の近くにあった町立図書館にまで行って本を借りて読んでいました。この時期があったのが、今の自分につながっているのかなと思います。



花壇では、ポチュラカの花がまだ元気に咲いています。

職員室でよく話題になることの一つに「子どもたちの語彙力」があります。言葉をあまり知らない。文章を正しく読めない等。いろいろな本を読むことによって自然と身につけていたものが、活字離れによって努力しなければ身につかなくなっているのではと後悔してしまいます。日本語は、同じ物を表現するとしてもたった一つの表現の仕方だけではなく、いろいろな表現の仕方があり言葉の前後の文章の意味がしっかり分からなければ理解できないということもあります。本を読むことは、これらの力を身につけるとともに、自分自身の知らない世界を知るきっかけを与えてくれるのではないのでしょうか。

ある方と話をしている時に「今、〇〇という本を読んでいるのだけど・・・」という話がありました。よくお聞きすると恩師が「今の君に必要なと思うから是非読みなさい」と勧めてくださったのだそうです。学校において、一人ひとりの子どもの状況に応じてその子にとっての「玉手箱」となるような本をどんどん勧めたいと思っています。

精一杯がんばった“運動会”

2日(日)、第65回秋季大運動会が盛大に開催されました。「限界に挑戦三島っ子!! 一勝利の女神がほほえむまで」の大会スローガンのもと子どもたちは競技に応援合戦に精一杯がんばりました。当日は好天に恵まれ、絶好のコンディションの中、地域の方々と一緒に運動会の全ての競技を無事終了することができました。地区の皆様方には、奉仕作業から緑門作り、当日の運営に至るまで多大なるご協力をいただきありがとうございました。



どんぐり読書週間

11日(火)~14日(金)は、「どんぐり読書週間」でした。読書郵便や各学級での読書活動などを通して読書に親しむ週間です。この活動の一環として、19日(水)に、本校ならではのガジュマルの木の下での“緑陰読書”を実施しました。木の下で穏やかな気持ちで、子どもたちと職員が一緒になった読書会は楽しいものでした。秋の夜長、御家庭でも是非親子で読書に親しんでみてください。



入賞おめでとう!

小学3年生の岡村航輝君が第4回「南日本ジュニア美術展」において、見事入賞を果たしました。先日写真のように賞状と副賞が学校に届き、授賞式を行いました。

航輝君に続き、今後も多くの子どもたちが作文や絵などの作品を通して自分なりに努力したことが広く認められればと思います。



歌舞伎“俊寛”中村勘三郎さん他「ジャンベ出迎え・送り」

21日(金)のジャンベ出迎えは雷雨により中止となりましたが、22日(土)は好天に恵まれ、勘三郎さんのセスナ機が無事に到着し、ジャンベによる盛大な出迎えができました。ほとんどの子どもたちが初めてとなる歌舞伎の鑑賞や、23日(日)のジャンベ見送り等無事終えることができました。このイベントを通して普段ではできない貴重な体験をしました。この体験を国語や音楽・歴史などの学習に生かして欲しいと思います。



子どもたちの出迎えに元気づけられておられたようです。

子どもたち一人一人に握手をして別れを惜しまれました。



九月踊り

6日(木)、7日(金)に地区の伝統行事「九月踊り」が行われました。今年は、中学3年の新門佳奈さん、中学2年の樋渡初菜さん、中学1年の佐藤詩緒里さん、新門里紗さん、前川友子さんの5人が参加しました。地区の伝統として伝わる華麗で優雅な踊りを披露することができました。初菜さんと里紗さんは歌舞伎「俊寛」の舞台においても踊りを披露し、いずれも大変貴重な体験となりました。

